

2022年



すくすくちーず

社会福祉法人 悠林舎



〒774-0044 阿南市上中町南島715番地1
電話 0884-24-8850



日差しにはまだ夏の名残もありますが、日の長さも随分と短くなってきました。長かった夏休みもあっという間でしたね。子どもたちも夏休み終盤に近づくにつれ憂鬱そうな表情を浮かべている子もいれば、学校のお友達に久しぶりに会えるのを楽しみにしている子もいたり様々な反応でした。

8月のお盆は3年ぶりの阿波踊りが開催されましたね。お祭りの雰囲気久しぶりに味わえてよかったと思うと同時に少し不安もありました。

コロナの感染者も急増して、夏休みに予定したスケジュールが変更になり子どもたちや保護者の皆様にご迷惑をおかけしましたが、臨機応変に対応していただき、またご理解くださりありがとうございました。おかげさまでキッスベースシースではクラスターもなく、活動することができています。

9月から久しぶりの学校で疲れも出やすくなると思います。子どもたちの体調に留意し、少しでも変化を感じた場合はご連絡させていただくこともあるかと思いますがご協力よろしくお願いいたします。

こっちむいてちーず

夏休みの活動の様子です。予定していた活動がコロナウイルス感染拡大の影響で中止になったりしましたが、室内で楽しめる活動を見つけながら、活動しました！

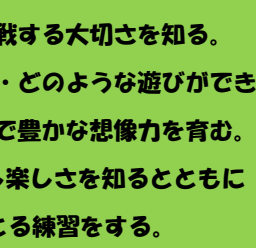
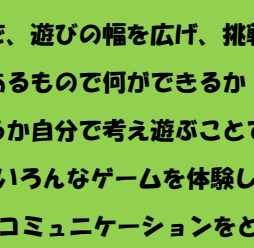
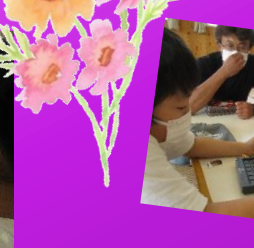
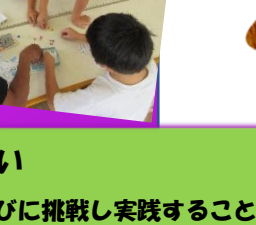


テボー店長さんに出張していただき、色んな療育ゲームを楽しみました！



ねらい

○今までしたことのない遊びに挑戦し実践することで、遊びの幅を広げ、挑戦する大切さを知る。
○あるもので何ができるか・どのような遊びができるか自分で考え遊ぶことで豊かな想像力を育む。
○いろんなゲームを体験し楽しさを知るとともにコミュニケーションをとる練習をする。



※写真の掲載につきましては、個人情報同意書に基づき、各ご家庭ご了承の上での掲載とさせていただきます※

療育のはなし「アナログゲーム」

今月は第3段階目の目的についてお話しします。第1段階目は「シンボルの形成」、第2段階目は「言葉や数の世界を拓ける」でした。

第3段階目は「概念を操作して論理的に思考したり、他者の視点に立つことができるようになる時期」です。目的は「客観的思考の形成」「他者視点の獲得」となります。7歳頃を境にお子さんの認知能力は、「今ここにいる自分から離れて物事を考えられる」という大きな飛躍を見せます。これを「脱中心化」と呼びます。目標の一つ目「客観的思考の形成」とは、主観を離れ自分の外にある基準に基づいて考えられることです。二つ目の「他者視点の獲得」とは、自分が直接経験していない他者の立場を想像できることとなります。どちらも「脱中心化」を意味します。「脱中心化」を果たすためには、子ども同士の対等な関係が欠かせません。ほかの子どもたちと関わる過程で、自分の気持ちや立場から一旦離れて状況や相手の立場を考えながら行動する機会が必要となります。そうするとお子さんは目の前の出来事や自分だけの思い込みにとらわれることがなくなり、「現状に基づいて先の見通しを立てる」「相手の立場や意図を理解する」などができるようになります。しかし、7歳になったからと言っていきなりこれらの変化が起きるわけではなく、7歳前後から変化が始まり12歳頃にかけて完成していきます。発達スピードには個人差があるので一概には言えませんが、アナログゲーム療育を通じて「脱中心化」を果たさせ、場面の状況や相手の立ち場に依じた柔軟なコミュニケーションができるよう支援しています。

9月イベント予定

キッスベース SEEDS

月	火	水	木	金
			1 レクリエーション 	2 レクリエーション
5	6	7	8	9
夏休みふりかえり 				
12	13	14	15	16
療育カードゲーム 				
19 休み 敬老の日	20 トーキング 	21 トーキング 	22 トーキング 	23 休み 秋分の日
26 レクリエーション 	27	28	29	30
フログラミング(ぬりえ・タイピング) 				

キッスベースのご利用日は必ずマスクをご持参頂きますようお願いいたします。

※天候やお子様の体調により変更する場合がございます。その場合、事前にお知らせいたします。